



**一の神殿
南西隅柱位置調整**

震災の影響で南西隅柱の足元が外に開いていました。そのため、南西隅柱周りを揚屋したのち、チェーンブロックと呼ばれる工具で柱を引き寄せました。



引き寄せた柱はここです

**一の神殿
壁板復旧**

柱の引き寄せが完了したのち、補修の必要がない壁板を復旧しました。

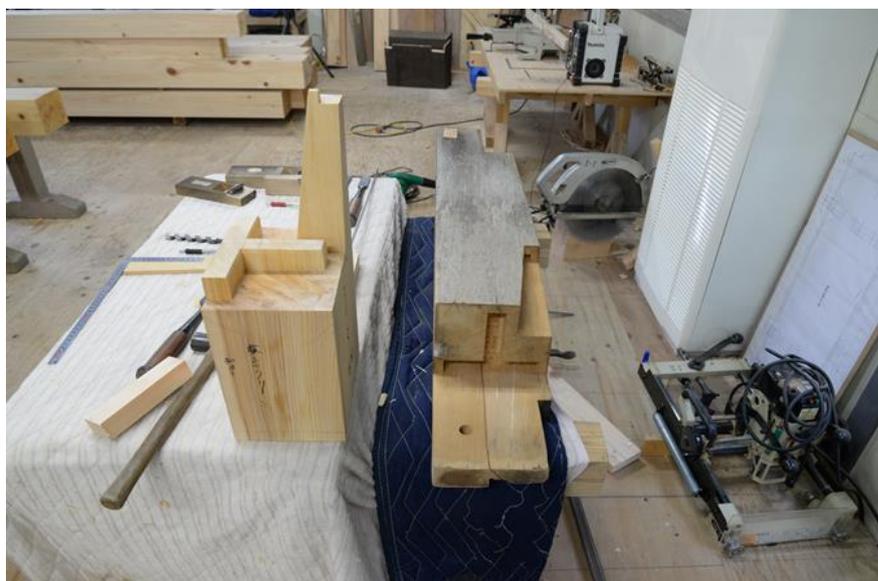


**二の神殿
浜縁縁束繕い**

古材のほうの加工は完了していたため、今回は根継をする新材の加工を行いました。



この部材です





**二の神殿
軒下叩き解体**

コンクリート下地モルタル仕上の土間叩きを解体しました。

**二の神殿
廻縁縁束礎石据直し**

位置、高さを調整したのち、無収縮モルタルで地業のコンクリートと固定しました。



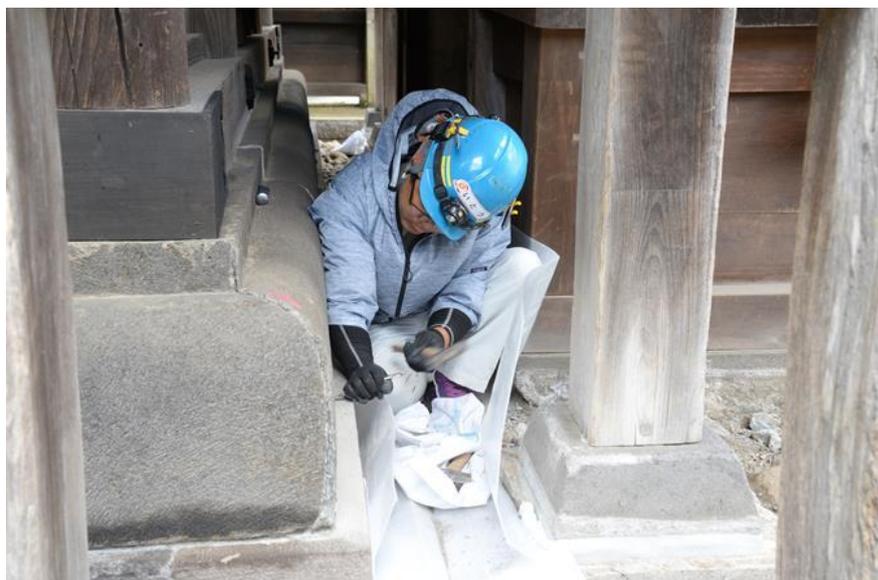
写真はここで



**二の神殿
耐震補強材墨付・加工**

土台と束の加工を行いました。





二の神殿・三の神殿
亀腹石目地解体

神殿の下部には亀腹石と呼ばれる石があります。
その石と石の間の目地の解体を行いました。

楼門
上層化粧垂木繕い

埋木、矧木、接着剤付けを行いました。



楼門
上層化粧裏板繕い

化粧垂木同様、埋木、矧木、接着剤付けを行いました。





楼門 基礎調査

土間の一部の掘削を行い、基礎の地中に埋まっている部分の調査を行いました。

還御門 門扉取り外し・復旧

門扉周りの調整のため、門扉を一旦取り外したのち復旧しました。



還御門 南側親柱・唐居敷修理

いつかの年代にモルタル製に作り替えられていた唐居敷を、ケヤキ材に戻しました。柱の根元も腐朽が進んでいたため、埋木を行いました。

